

朝霞地区ICLSコース

朝霞台中央総合病院 脳外科 浅井 彰久

ICLS(Immediate cardiac life support)というのは、医療従事者のための心肺蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。講義室での講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。受講生は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。本コースは日本救急医学会より一定の基準を満たしたコースとして正式に認定されています。受講後に、認定された受講証が受け取れます。

最近是一般市民向けにも、救命講習や、AED(自動体外式除細動器)の使用講習が盛んに行われるようになり、その効果で実際に心停止の患者さんが、無事に社会復帰されている例も多くなってきたのは非常にうれしいことです。ここでいうICLS講習は、医療従事者向けの、救命講習のことです。

目の前で、心停止の患者さんに遭遇することは、医療従事者としてもそんなに多い事ではないのが通常だと思います。そのため、いざというときに、適切に処置することがなかなか難しいと感じることが多いものです。

そこで、患者さんの救命と社会復帰のために重要な最初の10分間の対処を身体で覚えていただけるように、人形を使った実践の講習が役にたつのです。座って受ける講習ではなく、身体を動かす実践練習といったものです。

実際に、自分の目の前で、誰かが倒れてしまって、うなづいたり、呼びかけても反応がない、という場面を想像してみ

てください。さあどうしましょうか？

誰か助けを呼ぶ、119番通報する、これらは正解です。応急処置をするっていうのはわかるけど、どうすればいいの？ こういったお悩み？はこの講習会で解決します。

人は、いつどこで急変するかわかりません。自分しかない時、もう疲れてたくたの時、そういった時にもあわてず、しっかりするべき事が身につけていたら、医療者として、自信も持てるし、安心できるのではないのでしょうか？

かくいう私も、初めてこの講習を受講したときに、講習のすばらしさに感動した一人です。世間にはいろいろなマニュアルがあふれており、それは医療のなかでも同じです。ICLS講習は、マニュアルを覚えるだけのものではありません。マニュアルとしても優れていますが、最終目標は、患者さんが社会復帰していくことです。そのためには、自ら身体を動かしつつ、患者さんの病状を考え、病因を除いていくことが必要です。マニュアルだけでは終わらない、自らが考えて対処するための考え方を学ぶコースでもあるわけです。現在当地域では、ICLS講習会は、志木、朝霞、新座、和光の4市の医療従事者を対象に、年4回朝霞地区医師会が主催で行っております。毎回、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、救命士さん達に受講の輪は広がっています。地域全体で突然の心停止の患者さんを一人でも多く救命し、社会復帰させようという動きは確実に広がっています。もしも、医療従事者の方で、参加してみたいという希望があれば、当院受付にお声お掛けください。よろしく願いします。

